

The 131st GREEN Seminar



エネルギー学理に貢献する 自動自律実験

Chair : 松田 翔一 (GREEN)

小林 成 助教

(東京大学大学院理学系研究科化学専攻)

物質・材料研究の飛躍的な効率化に向けて、AIやロボットを活用した自動自律実験が世界的潮流となっています。しかし、自律実験が未知の革新的な発見を主導した事例は未だ乏しく、その真価が問われる段階にあります。本講演では、全固体電池の物質・界面を対象に、講演者が進めてきた基礎研究や自律的物質探索の事例を紹介します。単なる合成パラメータ最適化に留まらず、物質設計の指針となるエネルギー学理の構築に資する、自動自律実験システムのあり方とその展望を議論させて頂きたい。

開催場所: NIMS 並木地区

共同研究棟4Fゼミナール室 409/410

開催日時: 2026年4月22日 (水) 16:00-17:00

言語: 日本語

連絡先: MATSUDA.Shoichi@nims.go.jp